

「審議会等の会議結果のお知らせ」
スポーツ推進審議会の会議結果について

令和3年3月25日に開催しました審議会の概要は下記のとおりです。

記

- 1 開催日時 令和3年3月25日（木） 14時00分から15時00分
 - 2 開催場所 佐賀市役所大財別館4階 第3会議室
 - 3 出席者の氏名
林正博（会長）、伊東健児（副会長）、堤久美子、徳光清隆、鳥谷功治、町田正直、井手一雄、田中夏美、嘉村英哲、時尾久美子、渡邊由美子、松本昌代
〈事務局〉
筒井地域振興部副部長、稲富スポーツ振興課長、馬郡スポーツ振興課副課長兼スポーツ係長、吉谷スポーツコンベンション係長、野田管理係長、水町スポーツ係主査、前田スポーツ係主任、副島スポーツ係主事
 - 4 欠席者の氏名
吉永美紀、山田力也、瀬戸要
 - 5 議題 「佐賀市スポーツ推進計画」について（資料1・2）
 - 6 会議の公開又は非公開の別 公開
 - 7 非公開の理由（会議を非公開とした場合に限る。）
 - 8 傍聴者数（会議を公開した場合に限る。） なし
 - 9 発言の内容
- ◎ 「第2次佐賀市スポーツ推進計画」に沿った今年度の年間総括について、資料に沿って事務局より説明

【主な意見】

- ◎ 国民スポーツ大会への関心度について
- ・国民スポーツ大会への関心度について説明があったが、それはボランティアとして関わりたいという関心度なのか。

（事務局）

- ・ボランティアに参加したい等の関心度については把握できていない。
- ・令和3年度から佐賀市スポーツボランティア登録制度が開始するので、さが桜マラソン、佐賀バルーンフェスタなどで培ったボランティア精神を、国民スポーツ大会推進課と協力して、国民スポーツ大会まで繋げていきたいと考えている。

◎ 指導者資格取得補助金について

- ・令和2年度において、スポーツ指導者等の資質向上で3名の方が資格を取得されているが、資格取得に補助する種目や資格が決まっているのか。

(事務局)

- ・毎年、資格取得に対して佐賀市から補助がある旨を競技団体に周知している。
- ・少年スポーツに対する指導者資格を対象としているので、例えばA級などの高い資格に対する補助は対象外としており、日本スポーツ協会でのスタートコーチ、コーチ1程度のレベルを対象に補助している。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で資格取得講座が中止になり、例年講座受講者が多いスポーツ少年団の認定員が講座を受けられず、今年度の補助者は3名と少なかった。

◎ 障害者スポーツについて

- ・障害のある人がスポーツを楽しめるように、同伴者も一緒にできるスポーツ教室など、特に力を入れたことがあれば教えていただきたい。

(事務局)

- ・佐賀市だけの障害者スポーツ推進は難しいので、今年度は佐賀県スポーツ課と障害者スポーツについて意見交換を行った。
- ・佐賀県障がい者スポーツ協会が開催する障害者スポーツ教室を市報に掲載したほか、特別支援学校に佐賀市まなざしスポーツレクリエーション祭のチラシ配布、参加呼び掛けを依頼し、参加希望者から連絡があった場合には、スポーツ推進協議会と連携し、スムーズに参加できるよう配慮した。

◎ 出前講座について

- ・年2回佐賀市老人クラブ連合会を対象に、佐賀市スポーツ推進協議会からニュースポーツの指導をしていただいております、習ったことを地域の活動に取り入れている。
- ・スポーツ施設まで行けないような高齢の方でも簡単にできるいごてだまを地域に広めるため、用具を手作りした。
- ・高齢者対象の出前講座について具体的項目を教えて欲しい。
- ・各地区老人クラブの代表の方が、ニュースポーツ体験教室に参加されるが、実施した競技を地域の自治会、各クラブに広げているのは少ない。そのため運動している高齢者の差が大きいと思う。

(事務局)

- ・出前講座は自治公民館で少人数を対象に実施している。
- ・ニュースポーツは、あまり大きな動きがなく、少年数が集まって簡単にできることがメリットであり、人気種目はいごてだま、ボッチャである。

- ・老人クラブ連合会とスポーツ推進協議会で行っているニュースポーツ体験教室で実施した競技を地元を持ち帰って広げることが大事と考えている。

◎ トップレベルの選手に対する支援について

- ・過去の議事録や佐賀市スポーツ推進計画では、トップアスリートの育成ではなく、スポーツの裾野を広げる方に特化するという文言があるが、トップアスリートへの支援に対して、今後は修正していくのか、このまま残していくのか気になった。
- ・トップアスリートは県に任せて、市としては裾野を広げる方に特化する流れなのか。

(事務局)

- ・トップアスリートの育成については、国民スポーツ大会に向けて、佐賀県や佐賀ブルーナーズ、サガン鳥栖などのプロスポーツと連携して進めていかなくてはならない。
- ・ライフステージに応じたスポーツの推進に伴い、プロスポーツチームと連携してボールを使った遊びによる子どもの体力づくりや、スポーツに興味関心を持つことを目的に、学校でのニュースポーツの出前講座を行っている。市としては、生涯スポーツの推進に主に取り組んでいるが、今後は競技スポーツの推進策のひとつとしてトップアスリートの育成にも寄与していきたいと考えている。

◎ 部活動について

- ・佐賀市スポーツ推進計画で、部活動と外部指導者との連携についての記載がなかったが、どのような理由で記載していないのか。
- ・教職員の多忙化から、県教育委員会は部活動の指導者を地域から発掘したいが、仕事をしていることで、いつも部活動の指導ができないなど現実的な問題がある。今後、旅費・手当等を整理していけば、外部指導者の話も進んでいくと思う。
- ・校長先生との連携、理解が必要だが、スタートコーチの資格を有する指導者が、すでに地元の中学校に指導者として派遣している事例もある。

(事務局)

- ・教職員の多忙化から部活動と外部指導者との連携について話があっているが、佐賀市内に受け皿となりえる総合型スポーツクラブやスポーツ少年団が限られているので、今回の計画ではそこまで踏み込めていない。

10 その他 次回会議日程について事務局から報告

11 問い合わせ先

佐賀市 地域振興部 スポーツ振興課
担当者 水町
電話番号 0952-40-7360